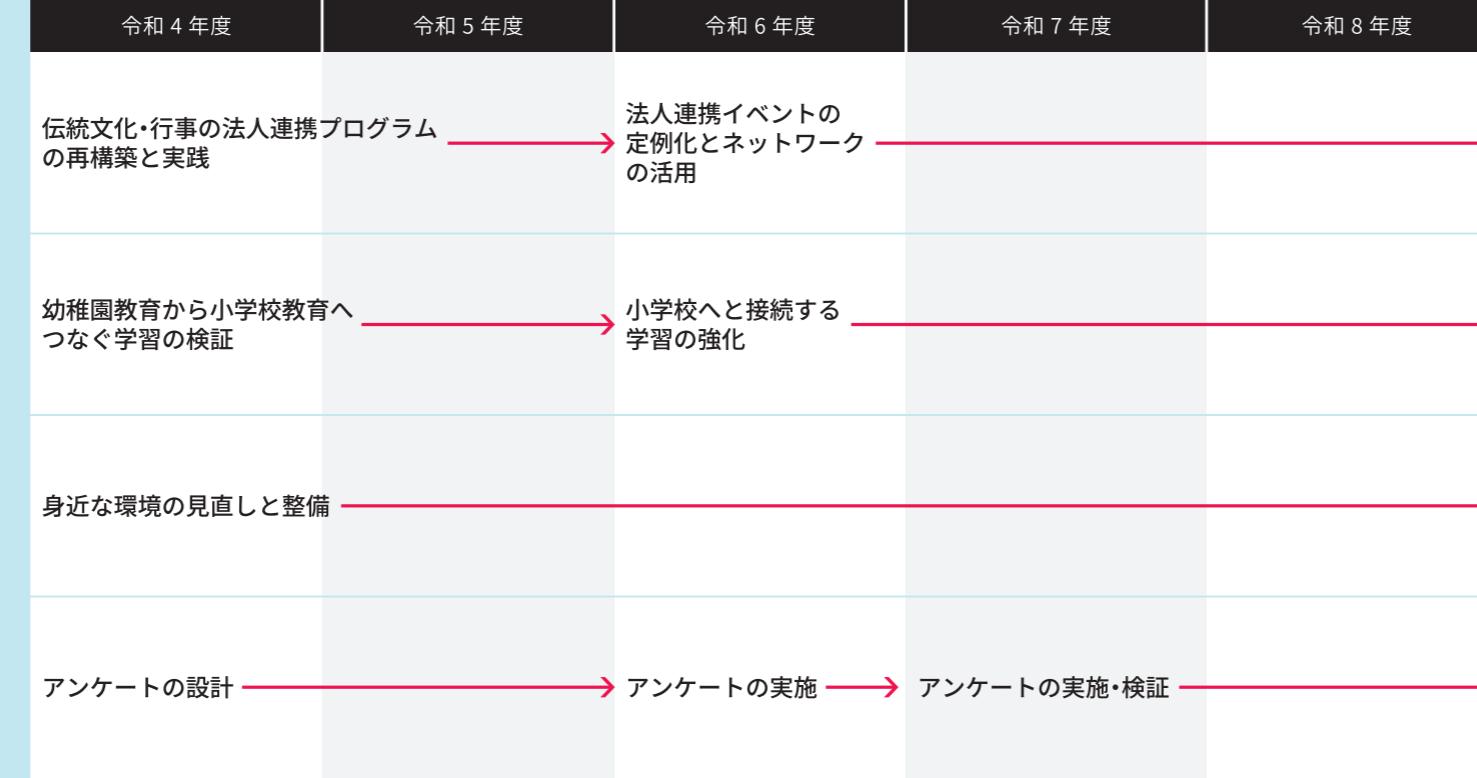


戦略  
1豊かな体験を通じた、環境に主体的に  
関わる資質・能力の向上

## 戦略達成のストーリー

遊びを通じて、人や環境への関わりを学ばせるとともに、豊かな感性や心を表現できるようにしていく。また、多彩な本物体験により、学びに向かう力や生活向上力を育んでいく。さらに日本文化に触れる機会を通して、伝統文化や行事に対する知識や学びを深め、日本の良さを大切に感じられる心を持つ園児を育成していく。

現在の姿	
【園児支援】園児が自ら自己アピールできるような支援をしていく必要がある。	
【保育の質】園児の成長を促すため、法人間連携プログラムの充実を図っていく必要がある。	
【教職員組織】新1年生などの教育現場情報が把握しきれていないという課題を抱えている。	
現在の指標	
卒園児アンケート <b>準備段階</b>	法人連携プログラム実施回数 <b>2回（年間）</b>
伝統文化・行事実施回数 <b>0回</b>	



達成後の姿	
【園児支援】園児が自信と他者への思いやりの心を持ち、明るくのびのびと自己表現ができるようになっている。園児が主体性を持って意欲的に学び、日本の良い文化を大切に守って行こうとする想いを身につけている。	
【保育の質】法人間連携が拡充し、園児が日本人の良さや素晴らしさを学ぶ環境の中で保育を受けている。	
【教職員組織】卒園児の情報が把握でき、幼稚園の運営にフィードバックできている。	
評価指標	
卒園児アンケート回収率 <b>75%</b>	法人連携プログラム実施回数 <b>4回（年間）</b>
伝統文化・行事実施回数 <b>3回（年間）</b>	

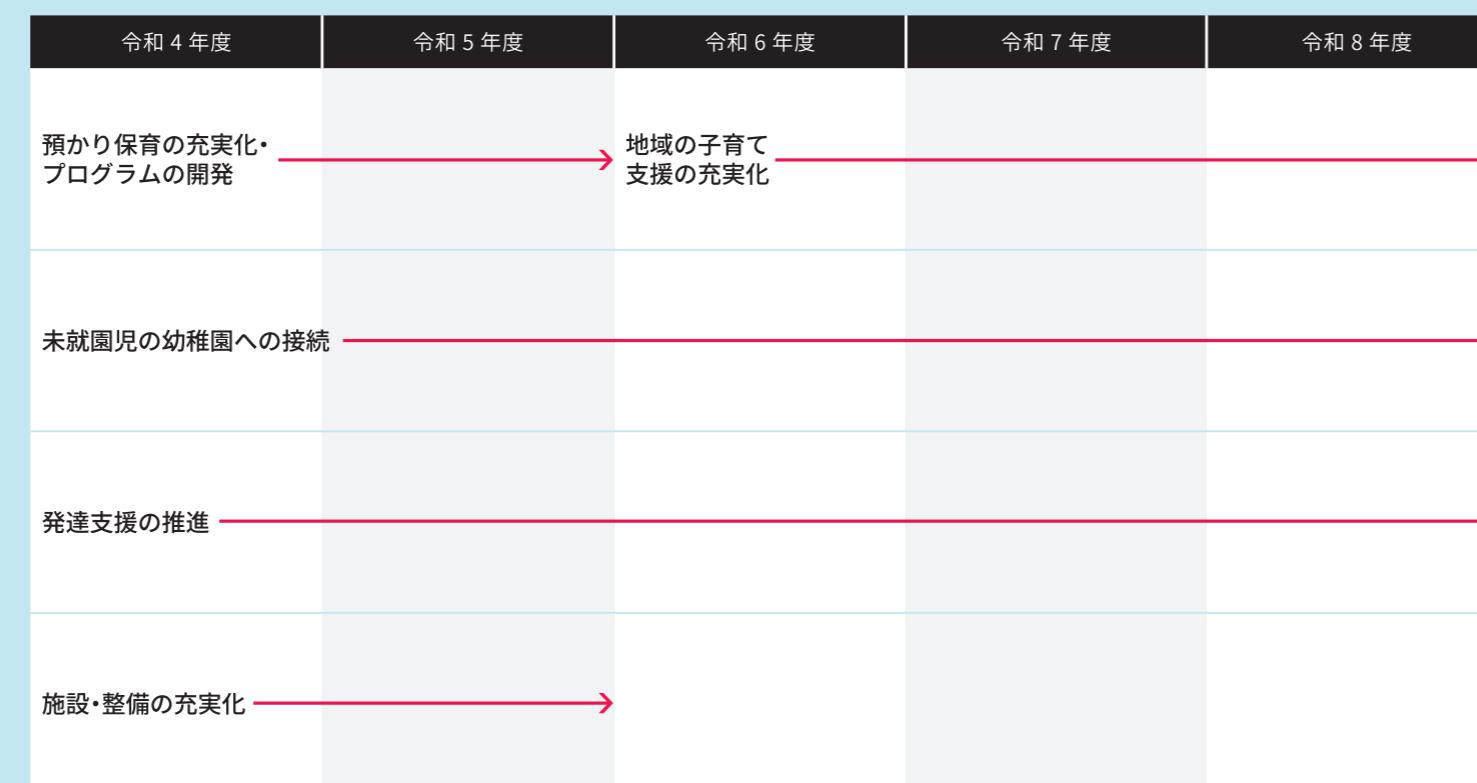
戦略  
2

## 子育て支援機能の強化・拡大

## 戦略達成のストーリー

幼稚園施設を利用している幼児の家庭を対象に、子育てに関する相談をはじめ、情報の提供や親子参加型事業などを推進していく。これらの支援機能を強化・拡大していくことで、未就園児の子育てをサポートできる幼稚園を目指していく。

現在の姿	
【子育て支援】延長保育を含め、社会情勢に対応した、より一層の支援が求められている。	
【園児募集】現代社会では、さまざまな生活スタイルがあり、孤立した環境で子育てをしている保護者に改めて幼稚園の価値や役割を認識してもらえるように、対応策を展開していく必要がある。	
現在の指標	
入園希望者 <b>19人</b>	預かり保育利用者 <b>15人</b>
未就園児クラス参加者 <b>20人</b>	



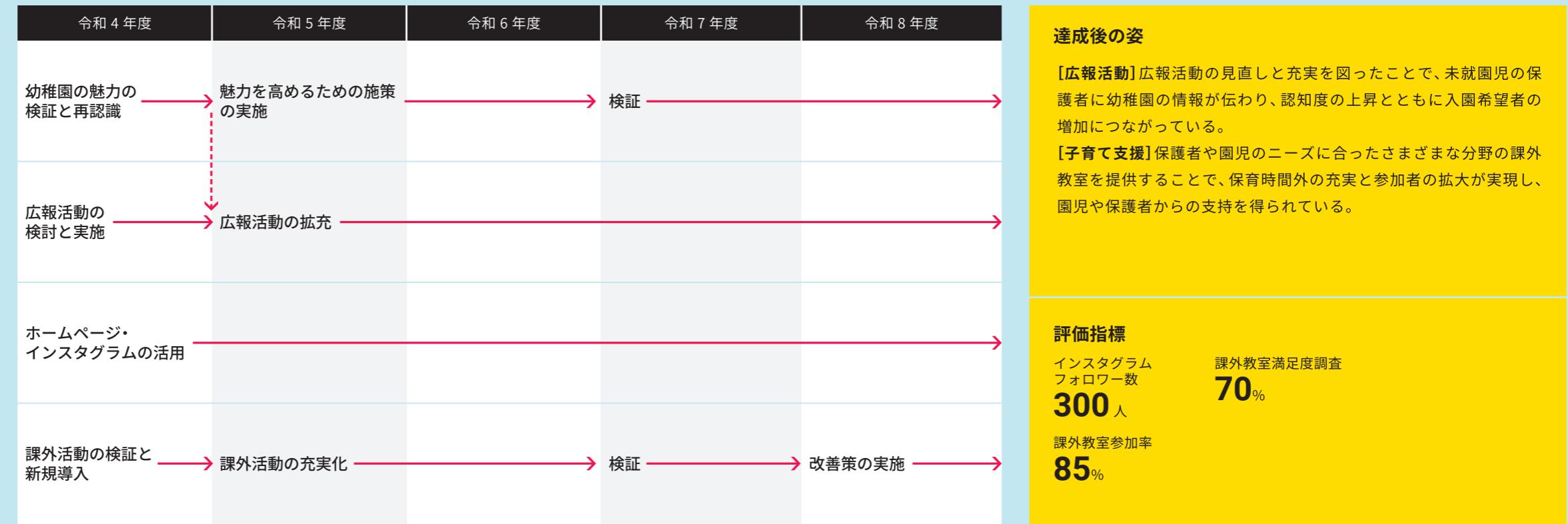
達成後の姿	
【子育て支援】未就園児クラスや預かり保育などの充実が評価され、学校法人の幼稚園として、地域社会の教育力を再生・向上に資する役割を果たしている。	
【園児募集】未就園児の保護者が幼稚園教育の重要性や取り組みを理解し、附属幼稚園に預けようとする気運が醸成されている。未就園児クラスへの参加者や預かり保育の希望者が増えている。	
評価指標	
入園希望者 <b>45人</b>	預かり保育利用者 <b>30人</b>
未就園児クラス参加者 <b>50人</b>	

戦略  
3各種広報媒体の有効活用による、  
魅力度・知名度向上

## 戦略達成のストーリー

国学院大学附属幼稚園の独自性や魅力をさらに高めるための施策を実施していく。また、独自性や魅力の効果的な伝え方を検証し、ホームページやインスタグラムなどを有効活用するとともに、的確かつ効率的な媒体を選択し、広報活動を展開していく。

現在の姿	
<p>[広報活動] 学校法人の幼稚園としての基本情報をしっかりと届けていく必要がある。幼稚園の認知獲得や活動理解を高めていく方法を改めて検討する必要がある。</p> <p>[子育て支援] 園児がさらに参加しやすい課外教室を提供するため、検証と改善を重ねていく必要がある。</p>	
現在の指標	課外教室満足度調査 準備段階
インスタグラム フォロワー数 <b>134人</b>	課外教室満足度調査 <b>準備段階</b>
課外教室参加率 <b>75%</b>	

戦略  
4

## 教員の資質および専門性の向上

## 戦略達成のストーリー

これまで行ってきた保育指導の検証と見直しを行い、保育指導を改善し実践していく。また、外部研修会に積極的に参加し、常に新しい知識・情報を蓄積していくとともに、その知見を踏まえた園内研修を実施していく。これらにより、保護者満足度の向上と教員自身の達成感・満足感の獲得を図り、優秀な人材育成へつなげていく。

現在の姿	
<p>[教職員組織] 教員それぞれが自己研鑽した知見と成果を共有する場として、独自の園内研修機会を提供する体制が求められている。</p> <p>[子育て支援] 成長が異なる子どもたちに対応するため、教員が受けけるスクールカウンセラーなどの相談機会をより多く設ける必要に迫られている。</p>	
現在の指標	園内研修の検討
外部研修参加率 <b>50%</b>	外部研修満足度 <b>50%</b>
園内研修 検討段階	保護者満足度 <b>65%</b>



達成後の姿	
<p>[教職員組織] 教員として求められるスキルが明確になり、共有や人材育成を目指した研修制度が確立している。研修成果が教育活動に反映された保育環境の中で、教職員が地域社会から期待される保育人材へ成長している。</p> <p>[子育て支援] 成長が異なる子どもたちに対応できる療育センター・スクールカウンセラーとの連携が進み、子どもたちの成長援助に貢献ができるようになっている。</p>	
評価指標	評価指標
外部研修参加率 <b>100%</b>	外部研修満足度 <b>70%</b>
園内研修満足度 <b>70%</b>	保護者満足度 <b>85%</b>

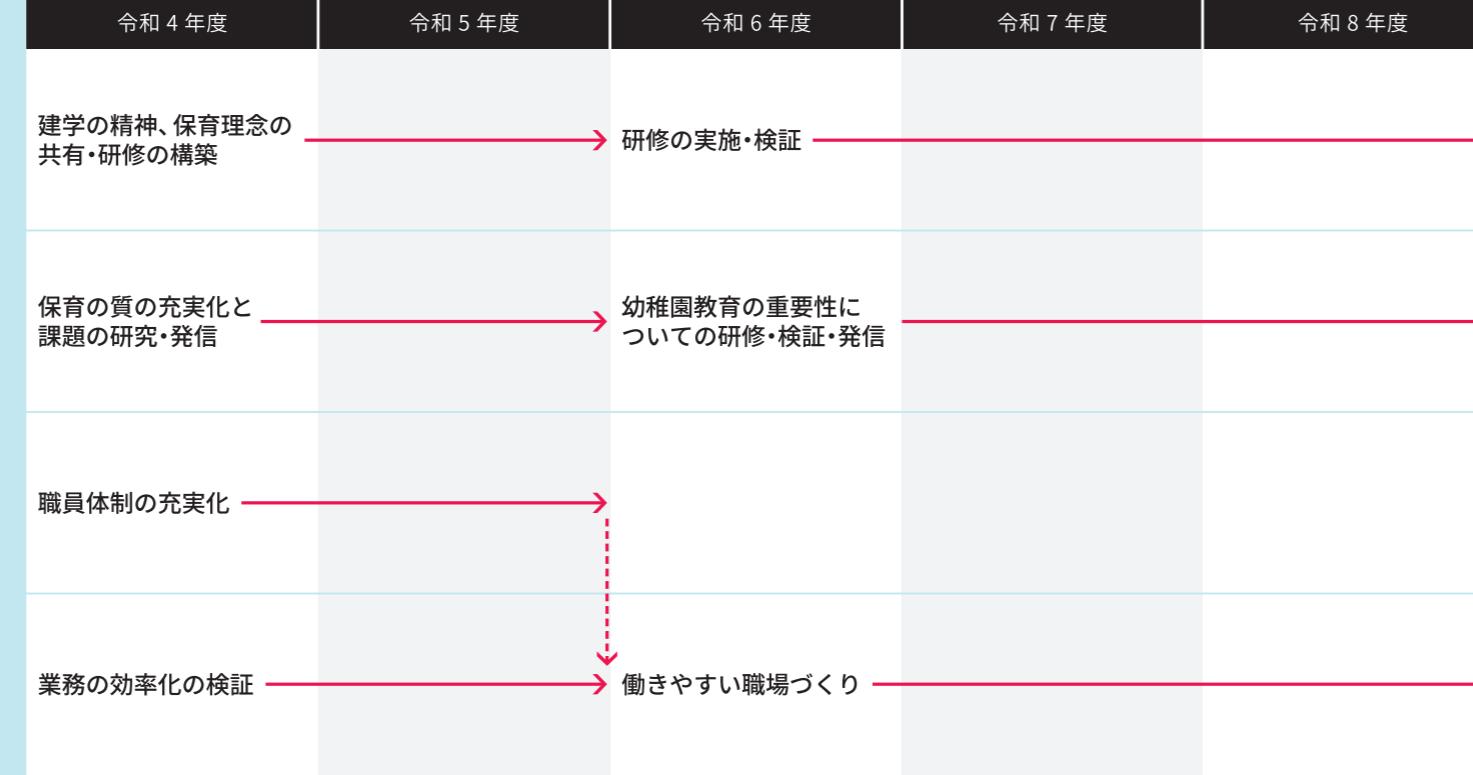
戦略  
5

## 建学の精神・保育理念の共有と 就学前教育の重要性と幼稚園の教育力の発信

### 戦略達成のストーリー

教員の一人ひとりが、建学の精神ならびに保育理念を深く理解するための研修を実施していく。そのうえで、就学前教育(幼稚園教育と家庭教育)の必要性と重要性を、幼稚園からの方的なメッセージではなく、保護者や保育関係者が共感し、同じ価値観として受け止められるように伝えられる組織を目指す。

現在の姿
<p>[教職員組織] 建学の精神や保育理念について、共通認識と理解を深めるための具体的な仕組みが必要になっている。教職員が保育指導の達成プロセスを共有しやすい、より良い職場環境を提供する必要がある。</p>
<p><b>現在の指標</b></p> <p>保護者満足度 <b>65%</b></p> <p>就業満足度アンケート <b>準備段階</b></p> <p>研修満足度アンケート <b>準備段階</b></p>



達成後の姿
<p>[教職員組織] 教職員が自己啓発に励み、幼稚園の教育力について外部発信できる力を持った構成員へと成長し、保護者の満足度維持向上に貢献している。個性を引き出し合いながら、お互いを認め合える教職員であり続けている。取り巻く内外の環境に積極的に働きかけながら、柔軟性を持ち合わせた組織になり、働きやすい職場が実現している。</p>
<p><b>評価指標</b></p> <p>保護者満足度 <b>85%</b></p> <p>就業満足度 <b>70%</b></p> <p>研修満足度 <b>70%</b></p>